

JFA U-12サッカーリーグ2025 in北海道 千歳地区大会 開催要項

- 1 主旨 日本^の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。さらに長期にわたるリーグ戦を導入することにより、U-12年代のサッカーにおけるリーグ戦文化を醸成していくことを目指す。
- 2 名称 JFA U-12サッカーリーグ2024 in北海道 千歳地区大会
- 3 主催 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人北海道サッカー協会
千歳地区サッカー協会 恵庭サッカー協会
- 4 主管 千歳地区サッカー協会、千歳サッカー協会、恵庭サッカー協会、北広島サッカー協会
- 5 担当 千歳地区サッカー協会4種委員会 リーグ部
- 6 期日 **1stラウンド1巡目: 2025年4月29日(火)、5月6日(火)、5月18日(日)**
1stラウンド2巡目: 2025年6月29日(日)、7月21日(月)、8月10日(日)
2ndラウンド: 2025年8月17日(日)※2部リーグのみ、8月31日(日)
代表決定ラウンド(全日本U-12サッカー選手権千歳地区予選): 2025年9月7日(日)
- 7 会場 恵庭市ルルマップ自然公園ふれらんど多目的広場
- 8 参加資格
(トップリーク)
 - (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
 - (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」とし、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。単独チームでの参加が難しい場合は、近隣の複数チームで合同チームを結成しての参加も可能である。その場合、大会参加上限学年が各チーム7名以下の場合であることが条件となる。ただし、合同チームは代表決定ラウンドには参加できない。
 - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - (4) 上記「参加チーム」の出場選手は、「U-10U-11リーグ」と重複して出場することができる。
 - (5) 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
 - (6) チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員は4名以下とし、そのうち選手への戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は、全員がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。また、試合時においては、ライセンスを有する指導者1名以上を含むチーム役員が2名以上ベンチ入りすること。引率指導者の氏名、資格等を参加申込書に記載する。
 - (7) リーク戦中の選手の移籍、複数エントリーチーム間の移動については認めるものとする。ただし、本リーグ戦は全日本U-12大会の予選を兼ねている関係から、移籍・移動が可能な期間を1stラウンド1巡目終了時以降、2ndラウンド開始5日前までとする。(5月19日以降、8月12日まで)
- 9 競技規則
(ア)公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
(イ)トップリークの登録選手は20名以内とし、試合にはそのうち16名がエントリーできる。
(ウ)ベンチ入りできる指導者は監督を含め4名以内とし、2名以上のチーム役員がベンチに入ること義務付ける。
- 10 競技方法
 - (1) 大会形式
 - (ア) 1stラウンドは全チームによる総当たり2回戦(12試合)を行う。
2ndラウンドは1部3チーム1回戦(2試合)、2部4チーム1回戦(3試合)を行う。
 - (イ)代表決定ラウンドは1部の3チームと2部の上位1チーム、計4チームによるトーナメント戦を行う。
 - (ウ)代表決定ラウンドの上位3チームが千歳地区代表となる。
 - (2) 順位の決定
リーグ戦は、勝点(勝-3点、引分-1点、負-0点)、得失点差、総得点、対戦相手により順位を決定する。なお、すべてのリーグ戦日程が終了後に同率の場合は、リーグ戦終了後PK方式で決定する。(4人目以降サドンデス)により順位を決定する。なお、PK戦の前に登録選手より8名を選出し主審に通知する。

11 競技会規定

(1) 競技のフィールド

競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。

その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。

(ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアークの半径:7m)ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。

交代ゾーン: 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)

(2) ボール

ミカサ社製『ALMUNDO(FT450B-YP・4号球)』とする。

(3) 競技者の数および交代

①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

②本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

③トップリーグにおいて参加申込時の登録人数は20名以内とし、開催節毎のエントリー人数は16名以内とする。

④登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。ただし、補欠なしを目指す観点から交代要員を必要最小人数にとどめることを推奨する。

(4) ベンチ入りするチーム役員の数

①トップリーグにおいてはベンチに入ることができるチーム役員は2名以上4名以下とする。

②選手への戦術的な指示やコーチングを行う者はJFA公認資格(D級以上)を有すること。ただし、公認資格を有する指導者が1名しか帯同できない場合は、指導者以外のチーム役員(主務、メディカルスタッフ等)がベンチ入りすること。(事前に氏名と役職を大会本部へ申し出ること。)

③これに反した場合には、チームに対し、大会規律委員会より懲罰を科す。

(5) 審判員

トップリーグにおいては主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。

ただし、予備審判については試合を行うチームから前半後半で各1名を出すこととする。

(6) テクニカルエリア

①設置する。

②その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。「指導者以外のベンチ入り役員」の戦略的指示は禁止する。

(7) 競技者の用具・ユニフォーム

①(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、本大会の緩和規定として②以下について採用する。

②ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行し、いずれかを着用しなければならない。(FP・GK 共用)。デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。

③審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(GKのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)

④ゲーム進行時にGKがFPとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、他の選手との判別がつくのであれば、GKとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。

⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。

⑥アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

⑦シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。

(8) 試合時間

①試合時間は40分(前後半各20分)とする。

ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則5分~10分間

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとし、延長戦は行わない。

③アディショナルタイムの表示は行う。

(9) 競技者の数および交代

①1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。

②本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

③節毎にエントリーできる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。ただし、補欠なしを目指す観点から交代要員を必要最小人数にとどめることを推奨する。(12名程度を推奨)

- (10) 交代の手続き
 ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 ④交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (11) 負傷者の対応
 主審が認めた場合のみ、最大2名のチーム役員がピッチへの入場を許可される。
- (12) ファウルと不正行為
 ①警告: 通常の競技規則に準ずる。
 ②退場: 当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 ③退席: ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対する体罰行為、罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分(退場)とし、ベンチからのコーチングは不可とする。それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
- (13) 飲水タイム
 暑熱下において、前・後半中に飲水タイムまたはクーリングブレイクを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。)

11 懲罰

- (1) 本大会はJFA全日本U-12サッカー大会千歳地区予選と懲罰規定上の同一の競技会とみなし、リーグ戦終了時で退場による未消化の出場停止処分は千歳地区予選および上位予選大会において順次消化する。
- (2) 本大会で受けた警告については、累積としてJFA全日本U-12サッカー大会千歳地区予選には持ち越さないものとする。
- (3) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (4) 大会規律委員会の委員長は、千歳地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (6) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (7) 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

12 参加申込

令和7年4月7日(月)までに下記アドレスまでメールにて申し込むこと。(リーグ担当宛)

申込先 cfa_4syu@soccer.nifty.jp

参加料 1チーム 25,000円 (監督会議時に徴収)

なお、1団体で複数チーム参加の場合でも、1チームにつき25,000円とする。

13 監督会議

令和7年4月11日(金曜日)19:00より千歳地区サッカー協会事務局で行う。

(恵庭市本町16三宝ビル3F)

全チームの参加を義務付ける。なお、監督会議には代行者(帯同審判・コーチ等)の参加も可とする。

14 帯同審判員

- (1) トップリーグ参加チームは参加1チームにつき公益財団法人日本サッカー協会審判員を2名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。なお、不帯同は認めない。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。
- (3) **参加申込書に記載のない審判員が審判業務を行う場合には、審判証を本部に提示すること。**

15 その他

- (1) 選手証は大会初日の試合40分前までに大会本部に提出し、選手の確認を受けること。
- (2) **出場選手の変更・追加登録は試合の5日前までとし、開催日毎に変更・追加できるものとする。変更する場合は、「メンバー登録変更用紙」に記載し、リーグ担当までメール送付すること。**
- (3) 選手資格に関し大会規定に違反し、その他不都合な行為が発生した場合は、そのチームの出場を停止する。
- (4) 本事業にあたっては、以下通知の通りとする。
 『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後のHKFA主催事業について(通知)』
<https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/>
- (5) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
- (6) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実施運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意の要。
- (7) 主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。
- (8) 代表決定ラウンド優勝・準優勝・第3位のチームは2025年9月20日(土)に千歳地区で開催されるJFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会道央ブロック予選大会への参加を義務付ける。なお、上記のチームが出場を辞退した場合、第4位チーム以降、代表決定ラウンド出場チームが繰り上げて参加することができる。
- (9) 本リーグ戦1stラウンド(1巡目)1~3位のチームにはロバパンカップ全道少年団千歳地区予選の抽選時にシード権が与えられる。